



すみれのたより

東横野
幼稚園

■ 東横野幼稚園の教育目標 「心豊かでたくましく意欲あふれる子どもの育成」

□ 具体目標 ・元気な子 ・やさしい子 ・友だちと遊ぶ子 ・がんばる子

卒園、進級おめでとうございます!

本日、平成30年度の修了式を迎えました。この1年、保護者の皆様方には大変お世話になり、子どもたちはすくすくと成長することができました。これも、東横野幼稚園を応援して下さる保護者の方々を始めとして、地域の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。次年度においても、新年号へ移行する記念となる年、たくさんのご協力とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

■ 父母の会総会・キリンクラブ修了式

昨年4月27日（金）に発足した父母の会も、3月の総会及び、キリンクラブ修了式をもってすべての行事が終了となりました。須藤会長さんを始めとして役員の方々には、行事の度ごとに縁の下の力持ちとなり円滑な運営にご尽力をいただくなど、大変お世話になりました。おかげで子どもたちも季節ごとの充実した体験をすることができました。父母の会総会では、1年のまとめとして丁寧な活動報告と決算報告がなされ、キリンクラブ修了式においては、全園児が呼名され、すみれ組の子どもたちには島田会長さんよりそれぞれ修了証書が授与されました。併せて、本園キリンクラブに対して、交通安全に真摯に取り組む長年の実績によって「**星野金子賞**」が贈られました。（副賞の電波時計はホールにて時を刻んでいます）



2019年度の新任役員さんも快く役職をお引き受けいただき、すでに引継ぎも終わりました。次年度からは、年度末の父母の会総会を年度始めの総会へひとつにまとめて保護者の負担軽減に努める予定です。認定こども園も3年目を迎えることとなり、新しい時代にいっそう対応するための行事の見直しや各種試みも計画しています。今後とも父母の会へのご協力・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



2019.3.8 キリンクラブ修了式
すみれ組へ修了証書授与



■ 第52回卒園式

厳しい寒さがいつの間にか遠のき、春の訪れが待ち遠しい3月16日、この佳き日に、天候にも恵まれ第52回の卒園式を盛大に開催することができました。多数のご来賓や保護者の心温まる励ましをいただいて、20名の子どもたちが修了証書を手に、本園を巣立っていきました。緊張した空気の中、お別れの言葉を一人一人が大きな声でしっかりと伝えることができ、自信を持って式に臨むことができた子どもたちの成長を心から頼もしく思いました。小学校に入学しても、勉強や運動に真剣に取り組むことでしょう。新任園長として本園にお世話になり、この1年ですくすくと伸びていく姿に接するたびに、子どもたちのしなやかで力強い生命力を体全体で実感した日々でありました。卒業記念誌である思い出画集には、こんな言葉を贈らせていただきました。



生きているって素敵だね。胸いっぱい空気を吸って深呼吸。桜の木の下で歌を歌い、友だちとの楽しいおしゃべり。夏の日差しの中で水のかけっこ。運動会や発表会では力を合わせて頑張って大満足。ぐんぐん伸びていく若い命。生きているって本当に素敵だね。素敵な命だから、これからも大切に、大切に育てていくんだよ。



若い命が度々失われていく世相を見るにつけ、子どもたちがのびのびと育っていく環境を大人が責任を持って準備する必要性を強く感じる昨今です。52回の卒園の歴史において、本年度をもって1711名もの卒園生を送り出した伝統ある東横野幼稚園。20名の卒園生には本園を巣立つ自信と誇りを心に、新しい人生のステージに挑戦してほしいと願っています。



■ 平成30年度 修了式を迎えるに当たり…

本日、平成30年度の修了式を迎えました。小学校の卒業式出席のため、子どもたちへ直接お話ができないことが少々残念です。そこで石井先生が私に代わってメッセージを子どもたちに伝えてくださることになりました。以下のような内容です。

東横野幼稚園にお勤めを始めて、この1年、みんなと一緒に生活ができてとても嬉しかったです。私が弾くギターで、一緒に歌を歌ったことをよく覚えています。夏のプールで、ホースで水道の冷たい水をかけたこと。みんなはきゃあきゃあ。ああ楽しかった！たくさんの思い出ができました。▼この1年、いろんな行事がありましたね。皆さんは、何が一番楽しかったですか？運動会で頑張ったこと？発表会での歌やダンス？大きなサツマイモを掘ったことかな？▼1年が終わって、皆さんは体も心も大きくなりました。4月からは、れんげさんは、何組になりますか。たん

ぽぼさんは？さくらさんは？ひとつ大きな組になると、教室が変わります。2階のお部屋に行く子どもたちは、窓から見える景色が違ってきますね。担任の先生も替わりますよ。お世話になっている先生とお別れするのは、ちょっと悲しい気持ち。▼でも新しい先生と一緒に、4月からどのような1年が始まるのかと思うと、わくわくした気持ちになりますね。楽しいことがたくさん待っているの、安心してくださいね。この1年、元気でいっぱい頑張ったから、園長先生からは、皆さんに、大きな花丸をあげましょう！



■ 一斉メールの登録について(再)

「スクールmailアシスト」の登録を「すみれのたより臨時号」にてお願いいたしました。また、卒園式前日の3月15日には第1回のテストメールを送信しましたが、メールをご覧になられたでしょうか。未登録の保護者におかれましては今回、このおたよりと併せて、「登録シート」を再度お届けいたしました。登録期日も4月30日に改めましたので、前回のものは破棄していただき、新年度を迎えるまでにお忙しいこととは思いますが、今回のシートをもとに登録作業をお願いできればと思います。一斉メールはクラス連絡網に代わって、園から緊急事項をお伝えする大事な手段です。このことをご理解の上、速やかな対応についてご協力をよろしくお願いいたします。また、送信状況を確認しますと、登録して下さったご家庭において、「メール未開封」となっているご家庭がいくつか見られました。

お手数ですが、リターン機能を使って空メールを送信していただければありがたいです。以上、よろしくお願いいたします。

以下はおたよりの編集後記、私の独り言です。読み飛ばしていただいてもいいような内容なので、小さな字で掲載していますが、本心を自由に書けるという利点(小さな喜び)もあります。紙面合わせの意味が大きく、今回はスペースがあるので、少々長く…。▼園長は閑職、本園では先生方が毎日忙しく立ち働いてくださっています。せめてもということで、朝の園庭整備と子どもたちのお迎えを主に私が担当することにしました。寒い日々も遠のき、園庭が乾燥する日は散水をして埃が立つのを防ぎます。晴れた日は実は楽しみがあります。太陽を背に配して散水すると、虹が見えるのです。散水した水滴に日の光が乱反射して光のスペクトル、すなわち虹が現れます。人工の虹ですが、規模は小さいものもちろん本物の虹です。ちょうどその時間帯に登園する子どもたちとは綺麗だねって。写真に撮ってみましたが、お分かりになるでしょうか。▼朝の園庭、最初の頃の記憶はあまりありません。ただ突っ立っているだけの園長だったことでしょうか。子どもや送迎の保護者のお名前が次第に分かるようになり、やがて親しく挨拶を交わすことができるようになりました。さり気ない話題だけではなくお子さんの貴重な情報をいただくこともあり、私には保護者の方との朝の会話はとても大切な時間になりました。息子の結婚式のため発表会を欠席したにもかかわらず、たくさんの方からお祝いの言葉をいただいたことには全く恐縮してしまいました。▼いつしか、「園長先生と朝のタッチ」が習わしになって、登園する子どもたちと手と手を合わせて「タッチ！」するのが朝の大事な日課になっています。元気にタッチしてくれる子もいれば、そっと優しく手を合わせる子も。一人一人の個性が伝わってきます。いつものテンションと違うことがあり、時にはタッチを避ける子も。そういう時には無理強いないで、その子の気持ちを察してみます。子どもなりにいろいろあるんだなあと思うと、今では子どもの心が日々成長している証だと思えてきます。▼毎日同じ場所、同じ視点で物事を見る、私はそれを長らく「定点観測」と呼んでいます。その積み重ねはばかになりません。いろんな出来事や事情が自分の中でやがて、ああそうかと繋がることが多いのです。子どもの小さな変化や成長を感じ取ってタイムリーに褒める、あるいは評価してあげる、その瞬間を捉えるためには、やはり「定点観測」的なじっくりと時間をかけた見守りがどうしても必要だということを経験から私は感じます。子どもの成長についてあれこれとお話したいことがたくさんありますが、紙面が尽きてしまいました。いずれまた何かの機会に話題にできればと思います。▼それでは、次年度もどうぞよろしくお願いいたします。(中)

